

# 特許流通による事業化紹介

---

高鍋タオル株式会社  
専務取締役 高鍋一成

# 企業概要

---

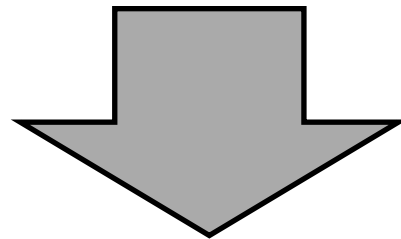
- × 商号 高鍋タオル株式会社
- × 所在地 福岡県八女郡広川町大字吉常596-1
- × 創業 昭和37年6月
- × 法人設立 昭和50年4月
- × 資本金 1,000万円
- × 事業内容 タオル製品製造販売
- × 主販売先 東武百貨店、大丸、内野、ヤクルト商事（敬称略）



# タオル業界の現況

---

- 低価格競争
- 海外品の台頭
- 産地の弱体化



付加価値商品開発の必要性

# 商品化への経緯

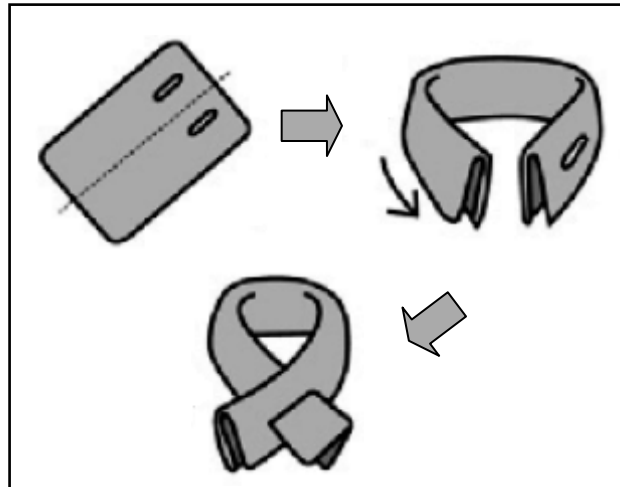
---

ライセンサー（特許提供者）

熊本の歯医者さんが発明したネックタオル

ライセンス案件：タオル等の長尺帯体、及びその製造方法

特許第3646220号



# ネックタオル

---

タオルの片側にある穴に反対のタオルを通すことにより、首に掛けたタオルが落ちない。

また、寒いときにはマフラーの様に使うことも出来、素材はタオル地の為、肌さわりがよい。



千葉ロッテマリーンズ  
オフィシャルグッズ

# 知的財産権活用への経緯

---

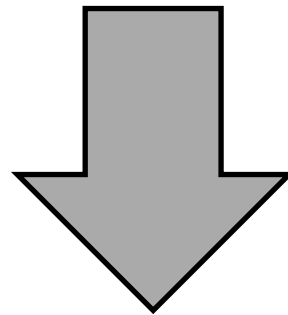
## 特許流通アドバイザーの支援

- ネットワークの提供
- ネットワークの活用
- 特許の専門的知識のアドバイス
- 契約締結のアドバイス

# 商品化後の課題

---

ライセンス料・製造費用によるコスト高



付加価値のある商品開発

# グッズ商品での販売

---

千葉ロッテマリーンズの  
オフィシャルグッズへの提案



採用



実績



他球団、他のイベント商品への普及



# 今後の課題

---

## 商品の認知度を高める

- ・ PR活動

## 生産体制の見直し

- ・ 大量生産体制の整備
- ・ 生産コストの縮減

# 知的財産権活用によるマインドの変化

---

付加価値商品開発の必要性  
他社商品との差別化

販路の拡大

**高鍋タオル株式会社**  
**専務取締役 高鍋一成**

---